

平成26年度 宗像市総合防災訓練 市内小中学校訓練実施内容

小学校①

NO	学校名	出席児童生徒数	実施内容	児童生徒の引き渡し	防災訓練実施後の成果	防災訓練実施後の課題
1	宮武小学校	103名	地震発生に伴う避難訓練 ・防災学習(DVD鑑賞) ・児童引き渡し訓練	実施	・児童が迅速に避難できた。 ・メール配信により保護者への連絡及び引き渡しがスムーズにできた。 ・防災学習(DVD)に子供たちが真剣に取り組み、子供たちは「お・は・し・も」を意識して行動し、どの学年も真剣に取り組むことが出来た。 ・子どもたちの心に響く校長の講和であった。 ・DVDの内容がとてもよく、子供たちが集中して視聴していた。 ・児童の引き渡しスタッフがスムーズであった。(受付各クラス1名、補助各クラス1名)	・児童に知らせずに引き打ちですること大切だ。 ・保護者や地域の方ともにもっと学習を計画したい。 ・非常災害時のシミュレーションをもっと詳細に確認して行く。
2	赤間小学校	894名	1次避難(礼の下)⇒2次避難(運動場)⇒3次避難(体育館) ・校長講話 ・防災学習(DVD視聴) ・児童引き渡し	実施 (1年生のみ)		・運動場避難の際、点呼を円滑に行えるよう、学年別、クラス別に整列した。しかし、運動場に速く着いたクラスが並ぼうとすると、その隙間がないという事案が起った。 ・次の訓練では、学年クラス順に関係なく、早くグラウンドについたクラスから順に整列させるか、整列のための学級場をついたグラウンドのフェンス等に常時掲示しておくといった準備が必要である。
3	河東小学校	609名	避難訓練(教室での身の安全の確認、運動場への避難、体育館への避難) ・防災学習(各教室でDVDを鑑賞、学習) ・引き渡し練習	実施	・引き渡しの際、児童を長子とどこに集めたのが良かった。保護者への引き渡しの際も昨年よりかなり円滑に進んだことも、長子児童が自分の弟、妹を迎えに行く際の「責任」を意識した発言が伺えた。	・家都市全体で行う訓練ならば、一気にサイレンを降らすべきだと思う。また、内容について各学校にお任せというのはいけなげなものかと思うし、このように報告ばかり求めるのではなく、せつかつく宗像市の職員が3人もきているのに何もならないのではないかとと思う。担当者から成果や課題を聞けば済むことだと思ふ。報告業務が多いことがとても気になる。業務の簡略化に注力している。ご検討いただきたい。
4	阿部小学校	197名	(1)地震発生...9:00 (2)訓練放送、初期避難放送...9:01 (3)礼の下等に避難...9:01~02 (4)2次避難放送、運動場へ避難...9:02~ (5)雨天時は避難せず、教室でDVD視聴。約15分間。(9:03~18) (6)点呼・安全の確認...9:07~10 (7)校長先生の話...9:10~13 (8)礼の先生から(お・は・し・も)確認、今後の日曜説明)9:13~15 (9)昇降口に敷いた濡れぞうきんを上靴で踏んで体育館へ9:15~25 体育館へ入場 9:20から (10)体育館で阿部地区自主防災訓練...9:30~10:15 (11)防災備品の組み立てや地域防災士の説明受講 防災グッズの試用、非常食の検査など 防災学習(DVD鑑賞) 引き渡し練習 (10)保護者引き渡し...10:30~11:15 (11)集団下校...11:30~ ・運動場に地域ごと整列する。雨の時は、生活科室と廊下など。	実施		・学期に際して今年度2度目の避難訓練であったが、避難中の児童の態度も良く、要した時間も10分以内で短縮できていた。 ・地域の関係に応じた防災学習が出来た。 ・児童の引き渡しに際しては世帯数が250世帯を上回り、保護者の関心の高さが感じられた。
5	東郷小学校	533名 (欠席19名)	避難訓練 ・防災学習(DVD視聴) ・保護者への緊急メール配信及び電話連絡 ・児童引き渡し訓練	実施	・児童の地震時の対応、避難方法、経路に対する意識が高まった。 ・災害時の児童引き渡しについて、保護者に対して意識付けをすることが出来た。	・防災学習用DVDソフトの提供をお願いしたい。(過去2年消防署や県立社会教育センターやライブラリーより借用したため、今年度以降視聴するDVDがない。) ・児童、保護者、地域の人が体育館に集まったため、体育館内の温度が非常に高くなり、健康面のリスクが高まった。
6	日の里東小学校	289名	避難訓練 ・防災学習(体育館にてDVD視聴) ・児童引き渡し訓練	実施	・引き渡し訓練を実施し、保護者に引き渡しの方法を理解してもらえたこと。	・参加していない保護者への共通通報。 ・緊急時にどれだけ今回引き渡しが生かされるか。 (1)運動場では、(2)雨天時は、3交代避難が確認された状態で、(4)保護者への緊急連絡がつかない状態で、(5)全員が一斉に幸な場合の対応等)
7	日の里西小学校	325名	地震避難訓練 ・引き渡し訓練	実施		

平成26年度 宗像市総合防災訓練 市内小中学校訓練実施内容

小学校②

8	自由ヶ丘小学校	515名	<p>※8：58地震発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常ベル発信、緊急放送①（1次避難：机の下等、2次避難：運動場、3次避難：体育館） ・全校への指導（避難所担当への報告、校長、係からの話） ・事故指導、防災指導、下校準備のため教室へ移動 ・児童引き渡し 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・前回比比べ、避難がスムーズに行えた。 ・子どもたちの避難に対する意識が高く、黙って行動することが出来た。 ・引き渡しの際、児童の行動と担任の役割分担を認識していたので、スムーズに行うことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な避難場所を指定した訓練の実施。 ・引き渡しカードの配付内容の検討。 ・2か所の通学路が、がけ崩れ特別警戒区域になっているにも関わらず、避難場所になっているので、避難場所の検討をお願いします。
9	赤間西小学校	416名	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練（地震対応） ・地域と合同の防災学習（地域の防災士による話、ビデオ視聴） ・保護者による引き渡し訓練 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・6月家康の1回自選避難訓練よりも素早い避難ができた。児童の態度もよくなった。 ・地域の方との学習は地域との一体感がでてよかった。また、地域も学校も体育館に集まることでイメージをつかむことができた。 ・保護者引き渡しは初めてであったが場所を3方向に分けたことでスムーズにできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震は避難経路が不通のことやいろいろなケースが想定されるため、どのような時間、場面でも対応できる訓練を積み上げていく必要がある。 ・保護者避難訓練についても上記と同様様々なケースを想定して訓練が必要だと思われる。
10	自由ヶ丘南小学校	422名	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練（机の下）、2次避難（運動場）、3次避難（体育館） ・防災DVD視聴 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地震発生時において、自分の身を守るため安全な避難経路を選び、素早く落ち着いて避難することの訓練がすることが出来た。 ・保護者への引き渡しは、昨年度よりも迅速に行うことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館が隣接しているため、地域の方の避難がほとんどなかった。 ・避難所は開設するのみにになりましたので、地域の方の割り振りがあるといいなと思いました。
12	河東西小学校	531名	<ul style="list-style-type: none"> ・防災学習（教室で一斉にDVD視聴、学級指導） ・避難訓練（地震を想定） ・人数報告訓練（学級担任） ・引き渡し訓練（各担任） 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地震の際の対応として、基本的な自助の仕方等を理解することが出来た。 ・訓練を通して、避難経路、並びに地震の際の避難場所を理解することが出来た。 ・機嫌により若干の時間差はあったが、確実にメールを配ることが出来た。 ・2回目ということもあり、大きな混乱もなく無事終えることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校指導の内容として、来年度は「家庭での約束（再開する場所）」についても触れるようにする。 ・避難後の報告のライン（各担任⇒教頭⇒校長）を確認する。 ・全家庭のメール発信を本年度内に進める。 ・来年度は車での来校を中止する。 ※本部（職員室待機）を2名（教頭、7学年）は必ず置く。
13	玄海東小学校	139名	<ul style="list-style-type: none"> ・1次避難：教室で机の下で身を守った後、中庭へ避難 ・2次避難：簡注直後、体育館で防災ビデオを視聴、その後振り返り 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・中庭を1次避難場所とした訓練の実施（初） ※体育館（2次避難場所）に近く移動がスムーズだった。 ・初の引き渡し訓練実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・より現実な引き渡しを想定しシステムの整備 ・地震のみならず、様々な災害を想定した訓練の実施
13	玄海小・中学校	小学校92名 中学校122名	<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同避難訓練（地震） ・2次避難所入所訓練（地震についてG.TIによる講和を含む。） ・在総合防災訓練（大町）見学（小学生） 参加20名（中学生ボランティア） 	未実施	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路の確認及び行動の仕方について体験を通し確認できた。 ・地震被害及び基本的な安全行動について知ることが出来た。 ・災害時の支援活動を知ることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区が広い。徒歩による引き渡し訓練が行いにくい。 ・避難時間の短縮。
14	地島小学校	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・放水体験 ・防災倉庫紹介 	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の引き渡しを実施出来た。 ・きびきびと訓練が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き渡し時、保護者が来れない場合含みの保護者に依頼をする等、事前が必要。
15	大島小中学校	小学校35名 中学校11名	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練時間（9：00）に避難訓練開始 ・避難場所での講習 ・多目的ホールにて防災DVD（「地震だ！その時どうする」上映）視聴 ・市職員より備蓄倉庫等の説明 ・各学年で訓練の振り返り 	未実施	<ul style="list-style-type: none"> ・予定通り実施でき、避難についての経路等確認することができた。 ・地域との連携により、住民と生徒が協力する内容を考えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄倉庫等緊急における役割の具体的な使用訓練が必要である。

平成26年度 宗像市総合防災訓練 市内小中学校訓練実施内容

中学校

16	城山中学校	768名	<ul style="list-style-type: none"> 地震による避難訓練 <ul style="list-style-type: none"> 事前指導 非常ベル作動・地震発生放送・避難開始、点呼、講評（校長）、避難訓練についての話（保健主事） 備蓄倉庫においてある物等の説明と非常食試食体験（市役所のかたより） 家庭時における災害時の対応について（市配布の防災マップを使用。） 	未実施	<ul style="list-style-type: none"> 避難開始から全校生徒の報告が終わるまで、5分40秒で終了しスムーズに避難訓練ができた。 生徒の避難訓練に対する態度も真面目で良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査を出てグラウンドまでは、走って移動しなけれはならなかったが、歩いて避難する生徒がいたこと。 グラウンドまでの避難はスムーズだったが、点呼や報告に時間がかかった学年があったこと。
17	中央中学校	302名	<ul style="list-style-type: none"> 地震による避難訓練 防災士による講評 	未実施	<ul style="list-style-type: none"> 防災マップの活用が出来た。 家庭における災害時の対応について、家庭で話し合う機会を作ることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 地震の際の避難方法の確認及び指導の徹底（眼を守る。）
18	日目の里中学校	319名	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練（地震） 防災士による講評 	未実施	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、教師が避難経路の確認ができた。 防災士の話などで生徒の防災意識が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な訓練が必要で、次回は火災時の訓練を行う必要がある。
19	自由ヶ丘中学校	435名	<ul style="list-style-type: none"> 雨天のため1時間目に地震災害の避難訓練を体育館で全学年一斉に実施した。2眼目に地震災害や自然災害（津）のビデオを見せ学習をした。その後、各クラスにて感想書きをして、避難訓練を振り返った。 	未実施	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に落ち着いた態度と機敏な行動ができた。 生徒たちは、普通通りに生活していても、突然自然災害が発生し、避難しなければならぬ状況になるということが実際に体験できた。 自分たちがどう対応していけばよいかビデオの映像からわかりやすそう学習できた。 普段から、自然災害に対する対策をしておかなければならぬことが実感できた。例えば、通学路・自宅での避難経路・場所の確認、家庭の面定、非常食の準備等の意識が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒間の役割を戻しても分かるように、自分の身の安全確保については、目録から確認した生手を心がけたいと思っており、継続的な訓練の必要性を感じた。 避難勧告の時の生徒の引き渡し方法を考えおく必要がある。
20	河東中学校	558名	<ol style="list-style-type: none"> 避難訓練 [8:55~9:40] 各教室→グラウンド→体育館 全体防災学習会 [9:50~10:20] 体育館 教室移動 各学級でアンケート・感想 [10:35~11:50] ※地域・保護者は、体育館に集り説明 ※生徒は、3校時授業 [11:00~11:50] 	未実施	<ul style="list-style-type: none"> 避難時間は以下の通りとなり、昨年度の比べ、迅速な避難行動ができた。 地震対応＜移動場一点呼終了＞ 1学年：4分20秒 2学年：4分42秒 3学年：4分13秒 津波対応＜運動場→体育館一点呼終了＞ ※1、3年移動後、2年移動移動 1学年：6分40秒 2学年：10分22秒 3学年：5分34秒 各役割の業務を、全ての教員が責任を持って行うことができ た。 防災教育（津波）に対する危機管理と対応 ・防災士資格を取得した者（教員）が指導者として授業をすること、様々な情報を伝えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 【運営面】 ●地震・津波を想定した避難訓練の他、火災を想定した訓練もプログラムに盛り込む必要がある。 ●体育館への避難移動は、その経路を算定する必要がある。（交差した経路があったり、入口の混雑が多少見受けられた） ●保健室に要救者がいる場合、避難補助者がいる必要がある。 ●地域参加者が本年度は1名であった。地域関係者を避難所として迎える体制も兼ねていたが、できなかった。地域参加が増える予定を考えていく必要がある。一ツサイレを働かした方がよいのでは。 【内容面】 ●3年間の学習内容を再考し、系統立てた学習プログラムが必要ではないか。

玄海中学校は玄海小学校、大高中学校は大高小学校を参照。